



ふじあざみ

8/21-8/28 第1陣 9/9-9/16 第4陣 TEC-FORCEを広島市に派遣

平成26年8月20日未明に広島市において記録的な大雨(87mm/h)が降り、広島市安佐南区、安佐北区では107件の土石流、59件の崖崩れが発生し、74名の方が亡くなりました。また、家屋の被害は全壊133戸、半壊122戸、一部損壊174戸に達しました。



※写真は国土地理院提供



富士砂防事務所においても、第1陣で加藤副所長、佐藤工務係長、第4陣で山村工務課長を派遣しています。

国土交通省では、広島市で発生した土砂災害への様々な対応を実施しています。太田国土交通大臣をはじめとする被災現場の現地調査、ヘリコプターによる上空からの被災状況調査、土砂災害専門家とTEC-FORCEの派遣、道路の土砂除去、大型土のうの設置、安全対策のための土石流センサー等の設置、監視カメラの設置、今後の降雨に対する警戒の強化、土砂災害から命と暮らしを守る緊急の取組、砂防堰堤等の緊急事業に着手しています。

※緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)とは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、地方公共団体等が行う被災状況の迅速な把握や早期復旧に関する技術的支援を行うものです。災害規模、発生場所等に応じて、複数の整備局・事務所等から出動します。

土石流危険渓流の緊急点検(第1陣)

○土石流危険渓流の緊急点検

●国土交通省5地整13班76名(中部2班、北陸2班、中国7班、四国1班、九州1班)からなるTEC-FORCEにより「土石流危険渓流」183渓流の緊急点検を行い、危険度を判定しました。

⇒A判定 70渓流 B判定 38渓流 C判定 75渓流

●そのうち、富士砂防事務所班では、18渓流(可部地区:1渓流、八木地区:2渓流、山本地区:6渓流、大林地区:9渓流)の緊急点検を行いました。

⇒A判定 5渓流 B判定 3渓流 C判定 10渓流
(うち土石流が発生した渓流 7渓流)

「危険度」

A判定: 緊急避難体制を確保するとともに緊急的な対応が必要

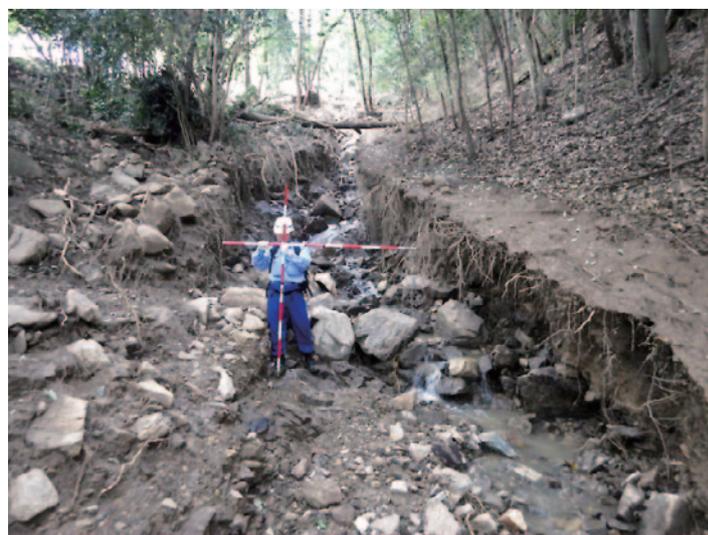
B判定: 当面警戒避難体制を強化するものとし、状況確認のうえで、必要に応じ対応が必要

C判定: 特に変化はなく緊急度は低いですが、降雨状況によっては注意を要するもの



降雨により住宅地への不安定土塊の流出の恐れあり
→A判定

広島市安佐北区大林



不安定土塊による土石流発生を考慮し、再調査後に対応
→B判定

広島市安佐南区八木

○マスコミ対応



国土技術政策総合研究所
長井深層崩壊対策研究官より捜索活動再開基準について説明



渓流の緊急点検に密着取材
(とくダネ!の取材)

○行方不明者捜索再開に向けた溪流点検

- 24日未明からの雨により二次災害の危険性があり、警察・消防・自衛隊による行方不明者捜索活動は一時中断となったため捜索活動再開に向けて、独立行政法人土木研究所とTEC-FORCEにより溪流の安全性を確認するための点検を行いました。
- また、警察・消防・自衛隊に対し捜索活動するにあたっての安全確保や二次災害防止に関する技術的アドバイスをを行いました。



溪流点検の状況



現場対策本部にて調査前打ち合わせ状況



被災状況

応急対策(第4陣)

現地対策本部の土石流対策班として土石流による二次災害を軽減するための応急対策の大型土嚢の設置と水路道路等の土砂撤去の現場監督作業を行いました。



現場での施工打ち合わせ状況



大型土嚢設置完了確認

8月31日 安居山第1区防災講座



富士宮市安居山第1区の防災訓練の一環として富士山の火山防災講座を実施しました。講座参加者は約100人で、最前列には中学生が陣取り吉田事務所長の講義を聞き漏らさないようしっかり聞いていました。

7月10日 校外学習（富士宮第3中学）



富士宮市立第3中学の2年生8名が富士砂防において富士山の火山防災について学習しました。中学生からは「富士山噴火について自分たちで調べてもわからなかったことをたくさん学ぶことができた。災害に備えていけたら」と感想が寄せられています。

8月13日 富士山講座と見学(ルイス&クラーク大学)



NPO法人富士山クラブの斡旋でアメリカのルイス&クラーク大学学生14名が夏休み日本研修の一環で富士砂防事務所へ、富士山の砂防・火山防災講座と大沢扇状地見学を体験しました。同行したエリザベス・サフラン地質学准教授からは「彼らは訪問と見学旅行からたくさんのことを学んだ。砂防事業に非常に感動した。素晴らしい経験を彼らは決して忘れることはない。」とメールでコメントを頂きました。

8月19日 夏休み富士山学習と扇状地見学



富士砂防事務所が、主に小学生を対象とした夏休み富士山学習と大沢扇状地見学を実施しました。21名の応募者が参加し、午前中は事務所で富士山の学習と災害対策室の見学、午後は大沢扇状地での砂防施設見学に参加しました。砂防樹林帯ではカブトムシ数匹を捕獲するなど自然に親しむことができ満足して帰って頂きました。

お知らせ 10/19 富士山火山三県合同防災訓練2014（静岡県、山梨県、神奈川県）

富士山噴火・降灰

三県自治体で合同図上訓練、住民等避難訓練、独自訓練が開催されます。富士砂防事務所では、独自訓練として下記の実演を東富士演習場にて行います。

降灰状況調査

道路啓開
(緊急・応急対策車両の通行の確保)

緊急工事
(溶岩流や土石流の捕捉や流下方向の転換)

●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100
TEL 0544-27-5387

担当/建設専門官 落合 または 調査課長 大森まで
インターネット <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>
E-mail fujisabo@cbr.mlit.go.jp

■富士宮砂防出張所
〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1321-9
TEL 0544-54-0236

■由比出張所
〒421-3211 静岡県静岡市清水区蒲原新田2丁目16-8
TEL 054-389-1202

「ふじあざみ」に掲載している内容・データ等は、現時点までに得ている調査結果を基本にしています。今後の調査等の進展により、内容の一部または全部に変更が生じる場合もあります。